

## 悴山紀一・同人代表追悼『千島学説東京セミナー』開催に寄せて

悴山紀一千島学説研究会代表が2月5日午後7時、逝去されました。享年70歳。

1月末の大阪・茨木での『千島学説セミナー』の開催を希求し、手書きできないほどの病床で口述しながら、房子夫人の手を借りてセミナーのプログラム・案内を作り上げました。

幸い関西支部の同人の献身的な支えにより、危ぶまれた開催も、緊急にもかかわらず、無事成功裏に終えることが出来ました。

これも代表の千島学説を何としてでも世に問うとの執念がセミナーを可能にしました。

悴山代表は、同人配布の2010年の代表挨拶の中で、『死は天命にあり、天命に逆らうことは出来ませんので逍遥として受け入れたく思いますが、やりかけの仕事もあり今死ぬわけにはいかない思いがあります。しかし、いつまでも生に執着はできませんので千島学研の将来が見据えられるまで、か弱き代表をよろしくお願い申し上げます。』と書かれました。

この頃、すでに、それとなく我が身の死の予兆を感じ取っていたように思えます。

仁志も昨年10月末の茨木での『千島先生110年祭・セミナー』でお会いしたときに、代表の間近な死を覚悟せざるを得ませんでした。どうにも気になって仕方ありませんでしたので、11月に入り二度、言い残したいことを聞き取りたく代表宅を訪れました。

臥せていた代表の心下部(鳩尾)を中心に手技療法でお手当したところ、徐々に顔面に赤みがさし、少し元気が出てきました。その後、暫しの間ですが、『今後の研究会のこと』、『加藤清・大阪健康再生会事件のこと』、『千島明氏と森下敬一氏との岐阜裁判こと』など、間を置きながら、ポツリ、ポツリ話されました。

また、一月の『千島学説セミナー』は、おそらく、僕の『追悼セミナー』になるやも知れぬが、何としてでも開催したいとも、語りました。

1月30日から始まるセミナーの前日の29日、病床の代表を見舞うと、寝床横の机上のノートに、『病床百句』と題して次の三句が記されていました。

- ・ 生も死も 野辺風わたる 満殊汝華(まんじゅしゃげ)
- ・ 生重く 死も重たくて 庭の雪
- ・ 死なぬなば くの字になって 寝(ねむ)るかな

そして、会終了の五日後、私たち多くの同人を残して旅立ちました。

代表は、小説を書き、千島学説を世に問うために、命をすり減らしつつ闘い続けました。志賀直哉に私淑した文章力をもって、誠実さと愚直とも思える態度に私たちは魅了され、多くの方が同人に名を連ねました。そして、代表の蒔いた種が、これからというそのときに、壮絶な死を迎えたのです。あまりに1人で重荷を背負い過ぎました。

悴山代表亡き千島学説研究会は、淋しくもあり、心細くもありますが、何としてでも悴山代表の志を引継ぎ発展させることが、私たち同人の責務であると思えてなりません。

代表の今日までの歩んだ足跡を辿り、今後の会の継続・発展を願いつつ『悴山紀一代表追悼・千島学説セミナー』を開催致します。

同人及び千島学説に期待する多くの方々のご参加を賜りたくお願い申し上げます。(仁志)

## 悴山紀一代表追悼 千島学説セミナー

- 日 時： 第1日目 2010年5月15日(土) 午後1時～午後8時  
第2日目 2010年5月16日(日) 午前10時～午後5時30分
- 場 所： 豊島区医師会館4階講堂 (親睦会…同室)  
〒171-0021 東京都豊島区西池袋3-22-16 TEL03-3986-2321
- 会 費： 1)両日ともに参加5,000円 2)1日のみ参加3,000円  
3)親睦会参加は別途3,000円 4)学生は無料。但し、お手伝い有り。  
参加申し込みは予約制ですので、事前に参加費を郵便振替口座にお振替え下さい。 口座名 病癒し所「天心」 口座番号 00230-8-18854  
関東支部以外の同人には大阪の事務局より案内をお送りします。
- 主 催： 千島学説研究会・関東支部  
実行委員長 仁志天映(病癒し所『天心』) 副委員長 杉本徳人(有機農業家)  
稲垣実(薬局経営者)  
学頭 衛藤公治(医師『衛藤クリニック』)  
副学頭 小松健治(医師『あうんくらぶ』)/酒向猛 (医師『セント、マーガレット病院』)/鈴木一策 (大学教員・哲学)/小島秀樹(国際弁護士)
- 連絡先： 仁志天映 〒225-0002 横浜市青葉区美しが丘1-19-2、4-6-106  
TEL&fax 045-902-2034 携帯 090-2328-7016  
E-mail nishi-tenei@nexyzbb.ne.jp

案内図

◎宿泊希望者は、「ウイークリーマンション東池袋」が良いと思います。悴山代表もお気に入りでした。隣に24時間営業の食堂あり。いつでも味噌汁が飲めます。宿泊代も早めに申し込めば5200円。少しわかりにくい所にありますので、宿に連絡を取り確認して下さい。JR大塚駅南口下車徒歩7分。 TEL 03-5396-9221 fax 03-5396-9222

第1日目 5月15日(土)

午後1時～午後8時  
受付開始午後12時より

第1部 セレモニー 13:00~13:50  
総合司会 小松伸子・高尾荘二  
総合司会挨拶 小松伸子(医院・事務長)  
開会の辞 仁志天映(実行委員長)  
基調講演 現代ガン医療の今日的動向 酒向猛(外科医/セント・マーガレット病院)

第2部 巻頭講演 13:50~14:30  
千島学説とソマチッド理論 稲田芳弘(作家)

—————14:30~14:40(休憩)—————

第3部 ガンにどう対処するか——ガンから学んだこと—— 14:40~16:10  
医師とガン体験者が語る シンポジウム・コーディネーター 舟橋慶一(アナウンサー)  
医師 小松健治/衛藤公治/酒向猛  
ガン体験者 松岡直見(胃ガン)/小島秀樹(肺ガン)/稲田芳弘(乳ガン)  
加藤茂(胃ガン)

第4部 特別講演 16:10~17:10  
千島先生と倅山代表と私とのつながり 丸本執正(伯方の塩代表取締役)  
夫・倅山紀一を語る 倅山房子

—————親睦会準備休憩(17:10~17:30)—————

第5部 親睦会 17:30~19:30  
司会進行 舟橋慶一(アナウンサー)  
献杯挨拶 丸本執正(伯方の塩)  
自己紹介シンポジウム 参加者全員  
一発締め 稲垣実(薬局経営者)

◎よいお酒・飲み物も用意しています。

(後片付け)

19:30~20:00

第2日目

5月16日(日)

午前10時~午後5時30分

総合司会 高尾荘二・小松伸子

第1部 セレモニー

10:00~10:50

総合司会挨拶

高尾荘二(血液循環療法)

開会の辞

小島秀樹(副学頭/国際弁護士)

基調講演 千島学説の生命・医学の8大原理

衛藤公治(医師/衛藤クリニック)

第2部 巻頭講演

10:50~12:10

新型インフルエンザを解明する

小松健治(医師/養生所あうんくらぶ)

千島生命哲学を貫くもの

鈴木一策(大学教員/哲学)

—————12:10~13:10(昼食休憩)—————

第3部 特別講演

13:10~13:50

医師法について思うこと

小島秀樹(副学頭・国際弁護士)

第4部 千島学説と手技療法

13:50~14:20

血液循環療法の理論と実技

山口政広・高尾荘二(血液循環療法士)

第5部 千島学説と各分野における実践

14:20~15:50

千島学説と鍼灸療法

三上玄鐘(鍼灸師)

千島学説と児山式代替療法

児山国男(株・サンルート)

千島学説と食事道一真田町の経験に学ぶ—

川越牧子(管理栄養士)

—————15:05~15:20(休憩)—————

千島学説と有機農法

杉本徳仁(有機農法家)

千島学説と竹炭の効用

新野恵(かぐや支援ネットワーク)

第6部 千島学説の理論と応用

15:50~16:30

千島学説と桜沢の無双原理

竹内都紀子(桜沢如一とりマの顕彰会)

千島学説と今日の環境問題

舟橋慶一(エコです環境応援団)

第7部 参加者との対話 —質問、疑問に答える—

司会 舟橋慶一 16:30~17:25

千島学説、治療法、その他あらゆる質問・疑問に答える(発表者と参加者全員)

第8部 フィナーレ

17:25~17:30

閉会の辞

衛藤公治(医師/衛藤クリニック医院)

一発締め

鈴木一策(大学教員/哲学)